

POPを書こう!

『2015年版読書世論調査』（毎日新聞東京本社広告局）によると、小中学生が本を選ぶ時の基準は1位：本の内容 2位：本の題名 となっており、これらの情報を一目で確認できるPOPは、学校図書館で本をお勧めする時のとても有効な手段と言えます。また同調査で小中学生女子では、5位に「友だちのすすめ」という項目がはいており、友だちがどんな本を読んでいるかを知ることができるPOPは、そういった面でも子ども達を読書へ導く手立てとして有効だと考えられます。

そもそもPOPってなに？ 参考:『大辞泉 第2版』松村 明/監修 小学館大辞泉編集部/編集 小学館 2012

Point-of-purchase【店頭・購買時点】の略。通常はPOP広告、つまり店頭広告や購買時点広告の意味として使われます。図書館に置き換えると、「借りてもらう(読んでもらう)ための広告」となります。

読書リーダー養成講座ではこんな風に小学生にレクチャーしています!

毎年6月に福岡市学校図書館支援センターでは、市内の小学校5、6年生から希望者を募り、読書リーダーを養成しています。

その中にPOPを作る講座を設けて小学生にレクチャーしています。1時間程度でみんな上手に作ってくれます。

平成29年度は、78校から263名が読書リーダーに認定されました! ぜひ学校で活躍できる場を作っていただきたいと思います。

ポイント1:好きな本で書く

授業などでは難しいかもしれませんが、好きな本というのが一番描きやすいので、最初は好きな本をお勧めします。

ポイント2:POPの目的は借りて(読んで)もらうこと!

絵や字の美しさや、文章のうまさも目的ではなく、「この本あなたも読んでみて!」という気持ちを伝えることが大事だと伝えています。

ポイント3:書名・著者名・出版社(書誌)は必ず書く

書店と違って図書館では借りてしまうと本がその場にはなくなってしまう。本がなくても読みたいと思った人が本を手に入れることができるように、必ず書誌情報をきちんと記入するように伝えています。

うまく書けない子にはこんなアドバイスをしています!

どこから書けばいいのかわからない

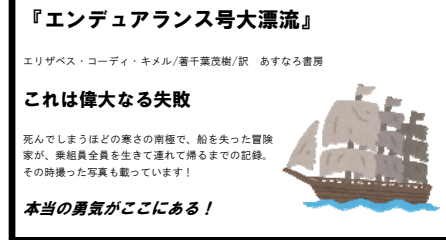
→まずは書誌情報をどこかに書こう。その後空いた場所を埋めていこう。と伝えます。

なんて紹介したらいいのかわからない

→どこが面白かったのか話してもらい、その通りに書いてもらってアドバイスをします。うまく話せない子には、どんな人ができた?どのページが一番好き?と質問しながら引き出します。この本読んで!の気持ちを伝えることが大切なので、必ずストーリーを順序良く文章にできなくても大丈夫です。

絵が下手なんですけど...

→絵に自信がなければ絵を描かなくて大丈夫! 折り紙やいろいろな形のパンチを利用するなど、工作を付け加えてもいいし、文章だけでも大丈夫。自分の得意なことを発揮するように勧めます。



これがPOPです!



学校指導課からのお知らせ

○『読書の秋』に向け、子どもたちにできるだけたくさんの本を読んでもらうために、以下の取組み例を参考に、計画・企画をお願いします。

- ・読書週間の設定
- ・授業における学校図書館活用の促進
- ・小学生読書リーダーや図書委員の活用場の設定

※11月には、読み上げ冊数調査を実施します。

支援センター日記(岡)

学校の図書館訪問では、ご多用中にもかかわらず丁寧に対応していただきありがとうございます。改めてお礼を申し上げます。

訪問した学校では、子どもたちの読書活動を高めるために、図書館の環境整備をはじめ、読み聞かせや朝の読書タイムの実施など、いろいろ工夫して取り組んでおられました。学校によっては、校長先生自ら、本の紹介やPOPを作成するなどされており、頭が下がります。これからも図書館訪問をしますので、よろしくお願い致します。

また、中学校には学習支援用図書セット一覧(ピンクのファイル)を今年3月に配布しています。活用をお願い致します。

ホームページが
変わりました!



福岡市総合図書館のホームページを開いたら、下にスクロールしてください!



ここから学校図書館支援センターのページに入れます!

新しく出版された本のご紹介

『司書教諭・学校司書のための学校図書館必携 理論と実践』

改訂版

全国学校図書館協議会/監修 悠光堂 2017.9 ISBN:4-906873-96-8

2015年に初版が出版され、私たち支援センタースタッフも日々活用している「学校図書館必携」の改訂版が出版されました! 学校図書館に関することが関係法令から理論、実践まで、網羅的に書かれており、新任の図書館担当者はもちろん、管理職の先生方やベテランの司書教諭・学校司書の先生方にもお勧めの1冊です。今回は以下の点が改訂されています。

- ①学習指導要領の改定内容を反映
- ②学校図書館ガイドラインを考慮
- ③学校司書の養成に活用できる
- ④第5次「学校図書館図書整備5か年計画」による環境整備を盛り込む



福岡市内の学校図書館での取組事例

こんな人に書いてもらっています!

- ★校長先生 ★図書委員 ★読書リーダー
- ★全校生徒にPOPを募集
- ★クラスごとのPOP
- ★授業単元と連携して(環境・伝記など)
- ★先生方 ★読書ボランティアの皆さん
- ★学校司書 など

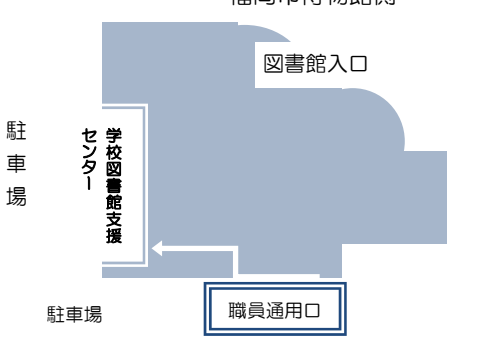
こんな方法で掲示しています!

- ★掲示板に掲示 ★まとめて掲示物にして掲示
- ★紹介された本をイーゼルなどに置いてその近くに掲示

こんな場所で掲示しています!

- ★図書館の掲示板 ★廊下の掲示板 ★低書架の上
- ★校長室の前 ★校長室の中 ★図書館の入口
- ★書架の側面 ★書架の空いているところ

福岡タワー側(北側)



百道中央公園側(南側)

校内で回覧をお願い致します

福岡市学校図書館支援センター

所在地：福岡市早良区百道浜3丁目7-1
 福岡市総合図書館団体貸出内
 開館日時：毎週月～金10：00～18：00(土日祝日を除く)
 電話：092-852-0639
 FAX：092-852-0801
 メール：shiencenter@toshokan.city.fukuoka.lg.jp
 HP：http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/support_centers/
 (職員通用口から入って警備室にて受付をお願いします。)